第 14 章	慶弔と贈答	

企業等のビジネス組織の取引では、慶弔及び贈答等の交際も含まれます。ここでは慶事・弔事の一般的なことならびに贈答のエチケットを学びましょう。

１．慶事

慶事とは、一般的に「祝いごと、めでたいこと」を意味します。私たちの生活においては、結婚や出産、入学や卒業といった人生の節目に当たることが多いでしょう。一方、企業等のビジネス組織も人間同様、「人格」をもっているといわれます。正確な法律用語では、「法人格」といい、「法律上の権利義務の主体となり得る地位」のことです。

以下、人間個人と企業等のビジネス組織の場合の慶事について対比しました。

企業等のビジネス組織の祝賀行事例	個人の祝賀行事例
・創立 100 周年記念などの式典・祝賀会等 ・本社社屋・工場などの落成式・竣工式 ・新店舗などの開店披露 ・代表者の賀寿 ・叙勲	・結婚式 ・賀寿 ・受賞 ・昇進・栄転・就任

このように、慶事があれば、企業等のビジネス組織として対処しなければならないことが生じます。【6 電話応対】【7 来客応対】【9 ビジネス文書の基本①】【10 ビジネス文書設営の基本②（演習）】【11 ビジネス通信の基本】【13 設営の基本】と学んできたことを総合的に実践する場となります。もちろん、それ以前に学んだ情報、コミュニケーションを基にしたチームでの仕事の仕方を理解し、実践できるようにしておかなければなりません。

「わかることからできること」へのあなた自身のスイッチを容易に入れることができること、これが仕事なのです。

１．１　主な慶事の知識と処理

♬ work ♪

Q１：主催者側

あなたは株式会社山川建材の総務部に所属する１年目の社員です。創設者でもあり、業界の会長職も長年勤めてきた顧問（横田恵一氏）が今年、88 歳の誕生日（10 月 20 日生まれ）を迎えます。代表取締役社長から常務会において、11 月中旬に取引先をお迎えし、会社を挙げての立食パーティにしたいとの提案があり、満場一致で決定しました。常務会メンバーである山田総務部長から、入社５年目の B さん、３年目の C さん、そして１年目のあなた（A さん）が呼ばれ、B さんをサブリーダー（実質担当者）を中心に準備をするよう指示がありました。YTT 方式で考えてみましょう。

Y（Yesterday）:

T（Today）:

T（Tomorrow）:

Ｑ２：参加側

あなたは株式会社舞子商事の営業部に所属する１年目の社員です。長年の取引先でもあり、良い関係を築いている株式会社山川建材より電話にて連絡を受けました。創設者でもあり、業界の会長職も長年勤めてきた株式会社山川建材・顧問（横田恵一氏）の 88 歳の御祝いを 11 月中旬に開催する予定で、後日、正式な文書を届けるとのことですが、社長ならびに営業部長に一応伝えておいてほしいとのことでした。あなたは何から始めますか。YTT 方式で考えてみましょう。

Y（Yesterday）:

T（Today）:

T（Tomorrow）:

１．２　返信はがきの書き方

招待状には必ずと言っていいほど、出欠確認のための返信はがきが付いている場合が多くあります。単なる返信ではなく、相手を尊重した、喜びを表現しましょう。

♬ work ♪

Q３：先の work の参加側の参加の場合

＜表＞

（2020 年現在、はがきは
全国一律 63 円）

＜裏＞

◆注意ポイントを書いておきましょう。

１．３　慶事に関することば

ことば	意味
祝儀（　　）	祝いの儀式のこと。祝いの時に贈る金品のこと。
祝言（　　）	結婚式などの祝いの儀式。祝いのことば。
祝詞（　　）	神事の時神官が神前で唱えることば。
餞別（　　）	遠くへ旅立つ人、転任、転移する人に別れの印として贈る金品のこと。
発起人（　　）	その会を計画した人。
祝辞・謝辞	（祝辞）式などで述べる祝いのことば。 （謝辞）祝辞に対するお礼のことば。

２．弔事

思いがけず、突然にやってくるのが悲しみの儀であることは皆さんも理解しているでしょう。また、知っているようで意外と知らないのが、弔事のこと、すなわちその折の振る舞いやマナーです。同時に、意外と人の目が気になり、恥ずかしい（非常識な）言動は避けたいと思うでしょう。いざというときに焦らなくてもよいよう、知っておきましょう。

地域や宗派等でも異なり、さまざまなしきたりや約束事があり、弔事に際して変更を伴う業務等を知っておきましょう。日本において最も多いとされる仏式を基本に述べます。

２．１　個人の場合

２．１．１　訃報を受けたら

宗教に関係なく、そのご遺族に対して心からお悔やみのことばを述べることが人間としての必要な行為です。

①同時に、通夜や葬儀の日時と場所・形式などを必ず尋ねること。まだ決定していない場合は、決定次第知らせてもらうよう依頼しましょう。

②できるなら、他に連絡が必要かどうかを尋ねましょう。悲しみごとに浸っていられない忙しいご遺族にとって心強く思われるはずです。すでにご親族やご近所が動き出しているとわかっていても、あなたがご遺族のためにできることを考えることは人として大切です。

▼弔事（通夜・葬儀・告別式）の対応

確認すべき情報	詳　　細
逝去の日時・経緯と死因	
通夜・葬儀・告別式の場所と日時	
葬儀の形式	
喪主に関する情報	
慶弔規定など、社内資料の収集	

※新聞の死亡記事は必ず毎日目を通すことも重要です。

２．１．２　弔問

「弔問」とは遺族を訪ねてお悔やみを述べることであり、親族や親しい友人の訃報が届いたら、一刻も早く駆けつけることです。駆けつける際は、服装は派手な色を除いて、普段着のままでも大丈夫です。「ご霊前」もこの時はまだ必要なく、通夜（つうや・つや）または告別式に持参します。上記を確認し、長居はしないで早めに帰ることを心掛けます。親族や近隣の親しい人であれば、手伝いを申し出ますが、相手に従います。

遺族から勧められた場合のみ、故人と最後の対面をすることができますが、ご遺体に触れるようなことは慎みます。対面するときは枕もとで一礼し、白布が上げられたら合掌して冥福を祈ります。最後に遺族に一礼します。

どうしてもすぐに駆けつけられない場合は、弔電を打つとよいでしょう。

２．１．３　通夜（つや・つうや）

① 受付で、お悔やみを述べて、香典を渡し、名簿に記帳する。
（受付がない場合は、遺族にお悔みを述べ、霊前にお参りし、祭壇に「ご霊前」を供える➡宗教の関係を理解する）

② 祭壇のある通夜の場に入る。

③ 場に入ったら、頭を下げて静かに喪主または遺族の所へ行き、お悔やみのことば

を述べる。

④ 通夜では、僧侶の読経が終わると/あるいは途中から、焼香（　　）　が始まる。

⑤ 通夜が終わると、通常「通夜ぶるまい」が行われる。
（弔問客に対するお礼とお清めのために、軽い酒食が振舞われる通夜ぶるまいは、喪家からすすめられたら、 固辞せず席につき 一口でも箸をつけること）

⑥ 「通夜ぶるまい」の席は、ころあいを見て退席しても失礼にはならない。
（また、適当な時間が過ぎると、遺族代表からお開きの挨拶があり、その時点で退席するとよい）

※宗教によっても異なりますので、くれぐれも注意をしましょう。

２．１．４　葬儀と告別式

「葬儀」は遺族、親族や故人と親しかった人が亡くなった人の冥福を祈る儀式であり、「告別式」は故人とゆかりのある人が最後のお別れをする儀式です。一般的には「葬儀・告別式」とされています。葬儀から参列するか、告別式だけに参列するかは、故人とのおつきあいの度合いをもって自分で判断することになりますが、非常に親しかった場合を除いては「告別式」に参加することといわれています。参加することを「会葬」といいます。

葬儀に遅刻、僧侶の読経が始まってから入室するのはマナー違反ですので、覚えておきま

しょう。葬儀式の開始 10 分前には受付を済ませるように、心に余裕をもって出かけるようにしましょう。

遺族や親族の最後のお別れが済むと「出棺」となりますが、一般会葬者にとって故人を見送る最後の儀式になります。焼香が済んだら早々式場を後にする人もいますが、できるかぎり見送るようにします。

棺が運び出され、霊柩車に棺を納めるときは、黙礼をしましょう。ご遺族の挨拶を静かに聞き、霊柩車が走り始めたら合掌や黙とうをしながら見送ります。

２．１．５　その他

グローバル社会の到来は、ご近所の方が外国人であるという状況も不思議ではありません。いかなる宗教においても、亡くなった方を尊重する姿勢には変わりありません。相手の宗教の弔い方を知っておくことも大切ですし、慣習の異なりから正しい振る舞いができないこともあるでしょう。しかし、弔い方が異なっても、あなたの宗教の方法で手を合わせることもできます。いずれにしても、亡くなった方に敬意を払うことを忘れないでください。

▼キリスト教式と神式との相関

	キリスト教式	神　式
服装	仏式と同じ	仏式と同じ
表書き	▼カトリック 「御花料」「御ミサ料」 ▼プロテスタント 「御花料」 ▼わからない場合 「御霊前」（プロテスタント系福音派では使用不可） 「御花料」（共通）	▼死者の霊前に供える 「御玉串料（おんたまぐしりょう）」 「御榊料（おさかきりょう）」 「御霊前」 ▼神官へのお礼 「御神饌料（ごしんせんりょう）」
通夜への参列	拝礼は献花	拝礼は玉串奉奠
	①花が右側になるように両手で受け取り、胸の高さに持って献花台へ進み、一例する。 ②一度花を献花台に向け、時計回りに180度回転させ、花が手前にくるようにし、両手で献花台へ供える。 ③信者の場合、十字を切り、一礼し、２～３歩下がって、遺族、神父（カトリック）または牧師（プロテスタント）に一礼。	①玉串を受け取り、右手は根元を上から、左手は葉先を下から持ち、玉串台へ進み、一礼する。 ②左右の手を持ち替えながら、時計回りに１８０度回転させ、葉先が手前にくるようにし、葉先を右手で、根元を左手で持ち、両手で玉串台に備える。 ③一歩下がって遺影に二礼し、音を立てずに忍び手で二回柏手をして一礼し、席に戻る。
	献花が終われば、通夜ぶるまいを勧められることがある。固辞せずに席に着き、一口でも箸をつけることがエチケット。	玉串奉奠が終われば、通夜ぶるまいを勧められることがある。固辞せずに席に着き、一口でも箸をつけることがエチケット。
葬儀への参列	献花が終わっても葬儀終了までは付き合う。 親族以外は、出棺を見届けたら、式場を後にする。	玉串奉奠が終わっても葬儀終了までは付き合う。 親族以外は、出棺を見届けたら、式場を後にする。

♫ work ♪

◆弔事に関する用語

用　語	意　味
享年（　　）	死亡した時の年齢。
会葬者（　　）	葬儀に参列する人のこと。
密葬（　　）	遺族や親族など身内だけで行う葬儀のこと。
香典（　　）	霊前に捧げる金銭のこと。
供物（　　）	神仏に供えるもの。
	（仏式）
	（神式）
忌みことば（　　）	不吉とされ使用をさけることば。 例）「重ね重ね」
喪章（　　）	人の死を悲しむ気持ちを表現するために付ける黒いリボンや布。
弔問（　　）	遺族を訪問して悔みを言うこと。
弔辞（　　）	故人を偲んで葬儀の時に述べることば。
服喪（　　）	親族がある一定期間、公的な交際を避けたり派手な振る舞いを慎む。
喪中（　　）	喪に服する期間のこと。
喪主（　　）	葬儀を執り行う名義人。
法要（　　）	故人の冥福を祈るための行事。
初七日（　　）	死後七日目のこと。またその時に行われる行事。
布施（　　）	葬儀や法事で僧侶に渡す金品のこと、またその上書きのことば。
香典返し（　　）	もらった香典に対し、返礼の品を贈ること。
忌明け（　　）	服喪の期間が終了すること。
冥福（　　）	

３．熨斗（のし）と水引（みずひき）

慶弔の儀式から贈答の習慣が根付くようになりました。贈答の品を和紙で包み、結び止めるものとして使用されるようになったのが「水引」です。和紙を縒って紙縒り（こより）状にし、縒りが戻らないように水糊を引いて乾かし固めたことから「水引」と称され、原形は白色とされ、神聖・清浄の意味をもつといわれています。

金封についている「熨斗」や、のし紙やのし袋に印刷されている「熨斗」の原形は、白い和紙の上に赤い和紙を重ね合わせ、束ねた伸し鮑を包んで水引で止め結んだもので、祝賀の贈答の際に贈り物に添えて用いられていたものです。

時代の移り変わりと共に和紙に包んだ「熨斗」を贈答品に添える風習が根付き、後に疑似簡素化したものとなり、 今日に至っています。

私たちが文房具店で求める「金封」の疑似熨斗は「折り熨斗」といわれるもので、明治以降に一般庶民の間にも贈答習慣が広まり、印刷の発展とともに「のし紙・のし袋」が発明されたのは大正時代の末期になるということです。

また、鮑は元来なま物なので、お祝い用であってもなま物が重なることを嫌って「熨斗」を付ける風習はありません。一方、弔事全般、病気見舞い、災害見舞いなどには、熨斗は付けないことになっています。

水引の本数や色に関して、どうすればよいのかと思い悩むこともあります。結ぶ水引の本数は奇数本数で用いることが基本です。「偶数を陰数、奇数を陽数」とする古代中国の陰陽説（万物は全て五気「木・火・土・金・水」から成り立っており、その五気が互いに関係しあって全ての森羅万象が形成されているという学説）から、または５本に束ねたものを基本結びとするのは古代中国の五行説が影響しているといわれています。３本結びは５本を簡素化したもの、７本結びは５本結びをより丁寧にしたもの、婚礼関係に使用する 10 本結びは偶数と捉えるのでなく、奇数の５本を倍数にした二重陽結びで「豪華さ」と「十分に満ちたりている」という意味合いを示します。９本は奇数ですが、「苦」に通じると忌み嫌って用いることはほぼないでしょう。

色に関しては、先の陰陽説から五原色（青色・赤色・黄色・白色・黒色）からなっておあり、金色や銀色は黄色や白色に通じるとされています。慶事では赤・白色、赤・銀色、もしくは金色のみで結ばれ、弔事では藍・銀色、黄・銀色、もしくは結ばない場合もあります。

形に関しても、「蝶結び」と「結び切り」があり、その意味も用途も異なります。

◆水引結びの例

慶事	紅白蝶結び	
	金銀結び切り	
弔事	黒白か銀の結び切り	

わからないときは、書籍等で調べることも大切ですし、年長者に尋ねることも忘れないでください。地域・社風に合った習慣と常識を学びましょう。

MEMO

４．贈答

一般的に、「夏はお中元、冬はお歳暮」を送付する習慣があります。日頃お世話になっている方へ物を贈る行為、またはその品物を指しますが、決して義務ではありません。近年では、デパート商戦とも相まって顧客の争奪のため早期予約としたり、エコの発想から簡易包装で送付することもあります。しかし、本来の意味はどのようなものなのでしょうか。

贈る相手は感謝をしたい相手、親や親戚、上司、取引先、仲人だけでなく、お稽古事の先生等に贈る例もあります。近年では、取引先や顧客に一律に送るというような、儀礼的な贈り物を禁止している会社、受け取らないビジネス組織もあるようです。また、学校の先生や入院等でお世話になった医師も受け取ることを辞退する場合が少なくありません。

贈り物は、心のこもった思いやりの表現であるからこそ、モノよりも価値のある何かを考える必要もあるようです。

また、モノを届ける場合は、本来は持参すべきであり、その際に感謝のことばを添えるからこそ、意味があったのです。郵便局や宅配業者を利用することは便利ですが、相手に品物が届く前に、はがき等で感謝のことばと品物を送った旨を連絡するということを私たちは忘れがちです。相手を思いやること、贈答においても表現できるはずです。

送付する場合、その期間はお中元が 7 月初旬～中旬の間、お歳暮は 12 月中旬～下旬の間です。遅れた場合、お中元は「暑中お見舞い」、8 月 8 日以降であれば「残暑お見舞い」、お歳暮は年を越すようであれば「お年賀」等、表書きを変える必要もありますので、注意しましょう。

いずれにしても、心を込めた贈り物について考えてみましょう。

MEMO

♫ work ♪

◆ケーススタディ

　あなたは上司から「角紅物産の専務がなくなった。公私に渡り親交があったので今晩の通夜にも参加する。香典の準備を頼む。」と依頼を受けました。

どのように対処するかグループで話し合ってみましょう。

◆宴席：下のクイズに○／×で答えましょう。

１：「平服でお越しください」とある場合は普段着で参加してもよい。	
２：コートや荷物は会場に持ち込んでもよい。	
３：会場の入り口で渡された飲み物は乾杯の前に飲んでもよい。	
４：胸章を渡されたら、会場を出るまではつけたままにしておく。	
５：時間に遅れた場合、主催者に謝罪しにいかなくてもよい。	
６：パーティの途中で帰るときは、主催者に一言言ってから出る。	
７：立食式のパーティの時は、食べ物がなくならない内に先に自分の皿にキープしておく。	
８：テーブルが一緒になった人には自分から挨拶する。	

参考１：賀寿

名　　称	解　　説
還暦 （かんれき）	61歳。 61年経つと、丁度誕生日の月日、曜日が同じになる。
古稀・古希 （こき）	70歳。 古くは70歳まで生きることが稀なため古希という。
喜寿 （きじゅ）	77歳。 「喜」の字の草書体が「 」で、これが七十七と読めることが由来。
傘寿 （さんじゅ）	80歳。 「傘」の俗字が「 」になることが由来。
半寿（はんじゅ） 盤寿（ばんじゅ）	81歳。 「半」の旧字体「 」を分解すると、八十一となることが由来。 盤寿は将棋盤の目は9×9の81マスなのが由来。
米寿（べいじゅ）	88歳。 米を分解すると八十八になることが由来。
卒寿（そつじゅ）	90歳。 「卒」の俗字の「卆」が由来。
白寿（はくじゅ）	99歳。 100－1=99、百－－＝白から。
上寿（じょうじゅ）	100歳。 かなり上だから。
茶寿（ちゃじゅ）	108歳。 茶の旧字体の草冠は＋＋みたいになっていることから、十＋十＝二十、 下の部分は八十八と読める。足して108になることが由来。
皇寿（こうじゅ） 川寿（せんじゅ）	111。 白は99歳、王は分解すると十二。99+12で111歳。 川寿は川の字が111に見えることが由来。

参考２：勲章の授与対象

<table>
<tr><th colspan="2">種　　類</th><th colspan="2">授与対象</th></tr>
<tr><td colspan="2">大勲位菊花章
/だいくんいきっかしょう</td><td colspan="2" rowspan="3">旭日大綬章又は瑞宝大綬章を授与されるべき功労より優れた功労のある方</td></tr>
<tr><td colspan="2">大勲位菊花章頸飾
/だいくんいきっかしょうけいしょく</td></tr>
<tr><td colspan="2">大勲位菊花大綬章
/だいくんいきっかだいじゅしょう</td></tr>
<tr><td colspan="2">桐花大綬章/とうかだいじゅしょう</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>旭日章
/きょくじつしょう</td><td>瑞宝章
/ずいほうしょう</td><td colspan="2" rowspan="7">国家又は公共に対し功労のある方</td></tr>
<tr><td>旭日大綬章
/きょくじつだいじゅしょう</td><td>瑞宝大綬章
/ずいほうだいじゅしょう</td></tr>
<tr><td>旭日重光章/きょくじつじゅうこうしょう</td><td>瑞宝重光章
/ずいほうじゅうこうしょう</td></tr>
<tr><td>旭日中綬章
/きょくじつちゅうじゅしょう
旭日小綬章
/きょくじつしょうじゅしょう
旭日双光章
/きょくじつそうこうしょう</td><td>瑞宝中綬章
/ずいほうちゅうじゅしょう</td></tr>
<tr><td>旭日単光章
/きょくじつたんこうしょう</td><td>瑞宝小綬章
/ずいほうしょうじゅしょう</td></tr>
<tr><td></td><td>瑞宝双光章
/ずいほうそうこうしょう</td></tr>
<tr><td></td><td>瑞宝単光章
/ずいほうたんこうしょう</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>旭日章</td><td>瑞宝章</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた方</td><td>公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化勲章
/ぶんかくんしょう</td><td colspan="2">文化の発達に関し特に顕著な功績のある方</td></tr>
</table>

※ 上記の他に、外国人に対する儀礼叙勲等特別な場合、女性のみに授与される勲章として「宝冠章」あり。

（内閣府　日本の勲章　http://www8.cao.go.jp/shokun/shurui-juyotaisho-kunsho.html）

参考３：表書き

＜贈る場合＞

内　容	水　引	の　し	表書き	贈る時期
結婚	紅白か金銀の結び切り	両折り 飾り折り	御祝、祝御結婚、 寿、御結婚御祝	挙式1週間前までにあるいは披露宴当日
出産	紅白蝶結び	両折り	御祝、御出産祝 祝御出産	出産後1か月以内
初節句七五三	紅白蝶結び	両折り	御祝、初節句御祝、祝七五三	初節句は節句の1週間前七五三は11月1～15日
入園・入学	紅白蝶結び	両折り	御祝、祝御入園、祝御入学	4月上旬までに
卒業・就職	紅白蝶結び	両折り	御祝、祝御卒業、祝御就職	卒業式から入社(入学)まで
成人	紅白蝶結び	両折り	祝御成人、成人御祝	1月の第2月曜日前か、誕生日に
結婚記念	紅白か金銀の一結び切り	両折り	祝結婚記念、祝銀婚式、祝金婚式など	当日まで又はパーティーなどの当日
賀寿	紅白か金銀の結び切り	両折り	寿、祝喜寿、寿福、祝米寿など	1週間前から誕生日又はパーティー当日
新築	紅白蝶結び	両折り	御祝、御新築祝い	披露当日、又は披露の前日まで
開店・開業	紅白蝶結び	両折り	御祝、祝御開店、祝御開業	開店(業)の前日までか、当日
発表会	紅白蝶結び	両折り	御祝、楽屋御見舞	当日
受賞(章)	紅白か金銀の蝶結び	両折り	御祝、祝御受賞(章)	受賞決定直後又は祝賀会の前日まで
中元	紅白蝶結び	両折り	御中元	7月1日から7月15日頃までに
歳暮	紅白蝶結び	両折り	御歳暮	12月上旬から12月25日頃までに
病気早舞い	紅白結び切りか水引	不要	御見舞、御伺い、祈御全快	病状や看護人の都合を考えて
災害見舞い	水引なし	不要	災害御見舞、出火御見舞、類焼御見舞、御伺い	知ったらすぐ
葬儀(仏式)	黒白か銀の結び切り	不要	御霊前、御香典、御香料	通夜・告別式で
葬儀(神式)	黒白か銀の結び切り	不要	御霊前、御玉串料、御神前	葬儀当日
葬儀 (キリスト教式)	白無地袋	不要	御霊前、御花料、御ミサ料(カトリック)	葬儀当日
法要(仏式)	黒白か黄白の結び切	不要	御仏前、御供物、御供物料	当日
法要(神式)	黒白か銀の結び切り	不要	御神前、御玉串料、御榊料	当日
法要 (キリスト教式)	白無地袋	不要	御花料、御ミサ料(カトリック)	当日

MEMO

＜お返しする場合＞

内　容	水　引	の　し	表書き	お返しの目安と時間
結婚	紅白結び切り	両折り	内祝	披露宴出席者には当日引き出物として、招待客以外には式後1か月以内に。半返しが目安。
出産	紅自蝶結び	両折り	内祝	出産1か月後頃。半額から3分の1程度が目安。
初節句七五三	紅白蝶結び	両折り	内祝	お返しは不要。ただし赤飯や千歳飴などをお祝いとして配る。宴席にお招きする。
入園・入学				お返しは不要。礼状を出す。
卒業・就職				お返しは不要。礼状を出す。
成人				お返しは不要。礼状を出す。
結婚記念	紅白蝶結び	両折り	内祝寿	当日以後に記念品を渡す。
賀寿	紅白蝶結び	両折り	内祝喜寿内祝など	祝宴を開いたときは、当日の引き出物がお返しになる。
新築	紅白蝶結び	両折り	内祝	披露当日の引き出物がお返しになる。
開店・開業	紅白蝶結び	両折り	内祝開店記念	披露パーティーなどの記念品がお返しになる。
発表会				お返しは不要。
受賞(章)	紅白蝶結び	両折り	内祝〇〇賞受賞	受賞後、約2週間まで、半額程度の記念品を贈る。 祝賀会当日引き出物として色紙等の作品もよい。
中元				お返しは不要。礼状を出す。相手によっては「暑中お見舞い」としてお返し。
歳暮				お返しは不要。礼状を出す。相手によっては「お年賀」としてお返し。
病気早舞い	紅白結び切り	両折り	内祝、快気祝	全快後1～2週間のうちに、半額から30%くらいの品物を目安に。
災害見舞い				お返しは不要。
葬儀(仏式)	黒白か銀の結び切り	不要	志、粗品、忌明志	お返しは、半額から3分の1程度の品物が目安三十五日か四十九日の忌明けに。
葬儀(神式)	黒白か銀の結び切り	不要	志、偲草	三十日か五十日のあとの忌明けに。
葬儀 (キリスト教式)	黒白か銀の結び切り	不要	志、粗品	死後1か月の召天記念のあとに(本来はお返しは不要)。
法要(仏式)	黒白か銀の結び切り	不要	志、祖供養	当日の引き出物がお返し。
法要(神式)	黒白か銀の結び切り	不要	志、茶の子	当日の引き出物がお返し。
法要 (キリスト教式)	黒白か銀の結び切り	不要	志、粗品	当日(本来はお返しは不要)。

MEMO

【事後学修】

◆慶事のマナーおよび弔事のマナーで気をつけることについて、あわせて 300 字以上で述べよ。

＜書き方＞

1．PC 利用、word で提出。
2．書式設定：40 字×30 行
3．フォント：本文 MS 明朝体、10.5 ポイント。
必要な個所は MS ゴシック等利用可能。
4．余白設定：標準とする。
5．文 字 数：300 字以上

＊ビジネスの現場では、相手に現状を説明したり、話をまとめる際、口頭では約 1 分程度が目安です。それを文章にすると、400 字程度となります。
文字数が指定されている場合は、①指定文字数を超過しないこと
②最低でも 8 割程度以上記入すること　が常識です。

6．そ の 他：誤字脱字を防ぐため、読み返すこと。
わからないことばは辞書を引く等、最低限の確認をすること。
文献からのコピペ、友人の答案の丸写し等、著しく逸脱したものに関しては得点を与えない。

＊美しい書類作成を心がけましょう。

【事前学修】

◆グローバル社会へ対応するためには何が必要かについて、この授業の内容とからめて 200 字以上で述べよ。

＜書き方＞

1．PC 利用、word で提出。
2．書式設定：40 字×30 行
3．フォント：本文 MS 明朝体、10.5 ポイント。
必要な個所は MS ゴシック等利用可能。
4．余白設定：標準とする。
5．文 字 数：200 字以上
A4 用紙 1 枚に 見栄え良くまとめる。
6．そ の 他：誤字脱字を防ぐため、読み返すこと。
わからないことばは辞書を引く等、最低限の確認をすること。
文献からのコピペ、友人の答案の丸写し等、著しく逸脱したものに関しては得点を与えない。

＊美しい書類作成を心がけましょう。